

No.189

★ちば

県議会だより

県議会は、年に4回（2月、6月、9月、12月）定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

【発行】 千葉県議会
【編集】 千葉県議会事務局政務調査課
〒260-0855
千葉市中央区市場町1-5
TEL 043-223-2523
FAX 043-222-4073



千葉県議会

6月定例会県議会のあらまし

6月定例会県議会は、5月28日に招集され、6月25日までの29日間にわたり開催されました。開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和7年度一般会計補正予算等の議案22件、審査請求に関する諮問1件、報告2件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

6月3日から7日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、22名の議員が登壇し、知事の政治姿勢をはじめ、財政問題、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

6月11日の一般質問終了後、諮問1件が先議となり、付託された総務防災常任委員会が審査した後、本会議において採決の結果、諮問に係る審査請求について棄却すべきである旨答申することに決定しました。

また、議案1件が追加上程され、知事から提案理由説明がありました。6月13日・16日には、予算委員会が開催され、令和7年度補正予算について審査されました。各常任委員会は、6月17日から4日間にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、令和7年度補正予算関係の議案1件が追加上程され、知事から提案理由説明があった後、所管の常任委員会（総務防災・商工労働）に付託され、具体的・専門的な審査が行われました。

本会議再開後、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、追加上程された議案を含む24件の議案全てが原案のとおり可決されました。

その後、追加上程された人事案件2件が同意され、続いて、議員発議案（意見書）15件のうち1件が可決されました。

次に、各常任委員会委員が選任され、各委員会において正副委員長の互選が行われました。本会議再開後、瀧田敏幸議長、實川隆副議長の辞職により、正副議長選挙が行われ、議長に武田正光議員、副議長に三沢智議員が選出されました。

最後に、議会運営委員会委員が選任され、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

令和7年6月定例会県議会の概要（会期日程、議案・発議案の賛否一覧等）は、千葉県議会ホームページに掲載しています。



代表質問



6月3日 火



自民党 岩井 泰憲 議員（印西市・印旛郡栄町）

- 知事の政治姿勢
- 成田空港
- 児童虐待防止
- 県内経済の活性化
- 農林水産業の振興
- 県営水道料金の改定



立憲民 菊岡 たづ子 議員（市原市）

- 知事の政治姿勢
- 市町村DX推進への取り組み
- 地球温暖化対策
- ミドル世代への支援
- 林野火災対策
- 荒廃農地対策

6月4日 水



公明党 阿部 俊昭 議員（柏市）

- 新規事業推進のための自主財源の確保
- 都市軸道路利根川渡河橋の事業化決定
- 多胎妊産婦の駐車利用証の有効期間延長
- 「ちばボランティアナビ」の意義と普及
- 千葉の未来を創る「人」の育成・県立高校の強化
- キャッシュレス決済10%還元キャンペーン



千政団 水野 友貴 議員（我孫子市）

- 中小企業支援と地域経済の活性化
- 小児医療提供体制の支援
- 県立学校のトイレの洋式化とエアコン整備
- 不登校児童生徒支援といじめ問題
- 気候変動に伴う農林水産業への対策
- 信号機のない横断歩道の取り締まり

質問項目は、主な項目を掲載しています。

その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。



議長・副議長紹介

第79代議長



武田 正光 議員
（自民党 流山市 5期）

第78代副議長



三沢 智 議員
（自民党 館山市 3期）

6月25日（閉会日）の本議会において、第79代議長に武田正光議員、第78代副議長に三沢智議員が選出されました。就任に当たり、武田議長は「議会機能の一層の充実・強化と、県民に開かれた議会運営を目指し、620万余の県民の負託と信頼に応え、誠心誠意、その職責を果たしてまいります」と抱負を述べました。また、三沢副議長は「議長を支え、公正かつ円滑な議会運営のため全力を尽くしたい。」とあいさつしました。

可決・同意された議案

◆ 令和7年度補正予算関係（7件）

▽ 一般会計（2件）

▽ 特別会計（5件）

◆ 条例の一部改正（4件）

▽ 職員の育児休業等に関する条例等

▽ 民生委員の定数を定める条例

▽ 千葉県警察基本条例及び千葉県交通巡視員被服等支給給与与条

▽ 千葉県議会議員及び千葉県知事の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公費負担に関する条例

◆ その他（15件）

▽ 契約の締結（12件）

▽ 和解

▽ 収用委員会委員の任命同意

▽ 監査委員の選任同意

可決された意見書

▽ 国における令和8年度教育予算拡充に関する意見書

会派等別議員数

会派等名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	50人
立憲民主党千葉県議会議員会	立憲民	13人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千葉新政策議員団	千政団	4人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	4人
平和の党	平和党	1人
国民民主党千葉県議会議員会	国民	1人
千葉県民の声	県民声	1人
リベラル民主	リベ民	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
市民力	市民力	1人
有志の会	有志	1人
野田民主の会	野田民	1人
無所属議員	無所属	4人
定数95人 現員91人		(令和7年5月27日現在)

千葉県議会公式 X・フェイスブック

県議会の情報を随時配信していますので、ちば県議会だよりと併せて、ぜひご覧ください。

X

フェイスブック



代表質問から

知事の政治姿勢

国総合計画素案は、どのような考えに基づいて作成したのか。

【答】令和3年の知事就任後、徹底した現場主義のもとで県政の課題を把握するとともに、新しい千葉の時代を切り開いていくため総合計画を策定し、これまで各種施策を推進してきた。

この間の、「第2の開港」とも言うべき成田空港の機能拡張や、道路ネットワークの整備進展などを通じて、本県の広域的な拠点としての優位性がさらに高まり、県内の活力がより一層向上する好機を迎えている。

一方、本格的な人口減少社会の到来や、自然災害の頻発化・激甚化、高齢化のさらなる進行など、わが国全体が抱える課題にも直面している。

また、社会経済のグローバル化・デジタル化の進展や、新型コロナウイルス感染症の経験などを経て、人々の価値観やライフスタイルは大きく変わりつつある。

このように、本県を取り巻く社会経済環境が変化をする中、本県の活力をさらに高めていくため、こうした課題にいち早く対応し挑戦することで、県民の命とくらしを守るとともに、豊かなライフスタイルを実現できる県づくりを加速させていきたいと考えている。

新たな総合計画の実施期間となる今後4年間は、成田空港における第3滑走路の新設や、圏央道の県内区間全線開通がいよいよ最終局面を迎えるなど、本県にとってさらなる飛躍に向けた絶好の機会であり、これらによる効果を県内全域へと波及させ、県全体の発展につなげていくことが重要である。

このため、新計画の素案につ

いては、これまでの取り組みの成果を生かしつつ、先の選挙において県民の皆さまにお示しをした「県政ビジョン」を踏まえ、おおむね10年後を見据えた課題意識や本県の目指す姿を示すとともに、その実現に向け、新しい「千葉の未来を、共につくっていく」との考えのもと作成した。

引き続き、県議会の皆さまをはじめ、県民や市町村、有識者の皆さまからのさまざまなご意見を伺い、英知を結集しながら、令和7年9月議会に計画案をお諮りするべく、取り組んでいく。

今回の官製談合防止法違反・公契約関係競争妨害事件の詳細はどのようなものか。また、過去の不正対策で防止できなかった理由をどう考えているのか。

【答】今回の事案は、企業局職員2名が令和5年に執行された市川市内の配水管整備工事に係る一般競争入札に関し、事業者の従業員に対して設計金額1億9930万9000円を教示したとして、官製談合防止法等違反の疑いで千葉地方検察庁に書類送致されたものである。

本件の調査が終了し送検され、県としても調査が可能となったことから、今後、県において、今回の事案が発生した背景・原因などについて、職員から聞き取り調査を実施するなど、事実関係を詳細に確認していく。

なお令和7年3月からは外部の者からの働きかけの記録制度を創設し、また、4月からは飲食の届け出制度の対象範囲を拡大するなど、コンプライアンスの取り組みを強化しているところであり、引き続き、取り組みの徹底を図り、県民の皆さまの信頼回復に努めていく。

成田空港

成田空港の機能強化に必要となる用地確保に対する県の取り組み方針はどうか。

【答】第3滑走路の新設を含む成田空港の拡張事業は、「第2の開港」

ともいべき大規模なものであり、令和7年5月、本格着工を迎えたことは非常に大きな意義がある。

拡張事業を実施合意してからこれまでの、空港会社など関係者の皆さまの努力に敬意を表するとともに、地権者をはじめとする地域の皆さまのご協力にも感謝申し上げる。

令和7年4月、空港会社が掲げる令和11年3月の第3滑走路等の供用開始に向けて、国土交通大臣から空港会社に対し、用地確保の具体的方策を検討する場として「成田空港滑走路新増設推進協議会」を設置するよう指示があり、県に対しても、国および空港会社から協力依頼があった。

拡張事業の早期実現は、わが国の産業競争力の強化と、空港を核とした地域づくりに不可欠であることから、県としては、推進協議会に参画するとともに、埋蔵文化財調査の迅速化をはじめ、空港会社が用地確保に注力できる環境整備に取り組んでいく。

児童虐待防止

松戸市で発生した児童の死亡事案を受け、今後県はどのように対応し、再発防止にどのように取り組んでいくのか。

【答】県では、今回の事案について、虐待により児童が死亡した痛ましい重大事案と認識しており、大変重く受け止めている。

このため、学識経験者や弁護士などの専門家や構成する児童虐待死亡事例等検証委員会において、本事案における柏児童相談所の対応等について分析・検証する必要があると考えており、速やかに検証を開始すべく、準備を進めているところである。

併せて、現在進めている、児童相談所職員の採用活動の強化などの人材の確保・育成や、電話対応への支援等を行う音

声マイニングシステムの導入をはじめとした業務改善など、児童相談所の体制強化に向けた取り組みを着実に実施することにより、貴い命が二度と失われることがないように、虐待防止対策に全力を挙げて取り組んでいく。

県内経済の活性化

魅力ある観光地域づくりに向け、今後、どのように取り組んでいくのか。

【答】本県は海や温泉など豊かな観光資源を有しており、これまで県では、地域資源を活用したコンテンツ開発への支援などを通じて、観光地の魅力向上を図ってきたところであるが、今後は、現在検討している宿泊税の活用も視野に、より大胆な施策を展開していきたいと考えている。

そこで、この6月補正予算では、まずは国の交付金を活用し、地域特性を踏まえたブランドイングやコンテンツ造成、観光客の利便性向上など、魅力的な観光地づくりに県が主体的に取り組んでいくこととした。

具体的には、市原市・大多喜町の2市町にまたがり、白湯・黒湯の2つの泉質が楽しめる養老溪谷温泉郷において、地元市町の他、民間事業者などと連携をしながら、ナイトタイムコンテンツの創出や交通便利性の向上に向けた実証等を進めていきたいと考えている。

今後も、海や温泉などを生かした観光地づくりに、多様な主体と協働しつつ、能動的に関わっていくこととし、高付加価値コンテンツの整備や民間資本の積極的な呼び込みなどを通じて、将来にわたって選ばれる観光地を形成し、地域経済の活性化につなげていく。

農林水産業の振興

海業の推進に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。

【答】海や漁村の地域資源を活用し、にぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待される海業の取り組みは、漁村地域の活性化を図る上で、重要と認識している。

そこで県では、学識経験者や漁業代表者からなる検討会を設置し、県内4地域ごとに、漁業の実態や自然環境などの特色に合わせて目指す姿を示した「千葉県海業推進基本構想」を、令和7年5月に策定したところである。

今後は、県内各地において研修会を開催し、基本構想の理念を共有するとともに、それぞれの地域が個性や魅力を生かした海業を計画的に推進できるよう、地元関係者などによる協議会の運営や、専門家の派遣に要する経費を助成するなど、各地域の活動を支援していく。

県営水道料金の改定

県営水道の料金引き上げについて、審議会で示した改定案はどのような検討に基づくものなのか。また、今後、料金引き上げに向けて、どのように取り組んでいくのか。

【答】今般、県営水道における令和8年度から令和12年度までの収支見通しについて、令和6年度決算見込みを踏まえ、動力費や修繕費などの経費にかかる最新の価格動向を加味して、改めて算出をしたところ、23・7パーセントの水道料金の引き上げが必要と見込まれた。

一方で、一般会計から上水道事業会計への繰出金については、国において、水道事業の防災対策強化の観点から、増額となるような基準の見直しが行われ、これに基づき上限額まで繰り出すことで、引き上げ幅を18・6パーセントまで抑えていきたいと考えている。

このような内容の料金改定

案について、5月29日に開催された水道事業運営審議会に諮問をしたところであり、今後は、審議会の中に設置をされた学識経験者からなる部会において、専門的な見地から水需要の見通しや、浄給水場や管路の更新・耐震化の考え方、具体的な料金体系などについて、議論を深めていく。

地球温暖化対策

県はペロブスカイト太陽電池に対してどのような将来展望を持っているのか。

【答】軽量で柔軟な特性を持つペロブスカイト太陽電池については、日本発の技術として、国を挙げて社会実装に向けた取り組みが進められており、主要な原料であるヨウ素の世界有数の生産量を誇る本県としても、導入を積極的に進めることが重要と考えている。

県も参加しているペロブスカイト太陽電池の導入拡大などに向けた官民協議会が令和6年11月に策定をした「次世代型太陽電池戦略」では、耐久性など性能面の課題の克服や量産化により、シリコン太陽電池に比肩する発電コストを実現していくことや、わが国のグリーントランスフォーメーションのけん引役となることを期待している。

県では、県有施設への率先導入を図るためのモデル事業を6月補正予算に計上しており、この事業を契機として、再生可能エネルギーの一層の普及・拡大と、ヨウ素産業をはじめとする本県産業の振興にもつなげていきたいと考えている。

県立高校の強化

職業系専門学科の活性化に向けた取り組みはどうか。

【答】県教育委員会では、令和7年5月に公表した第2次実施プロ

グラム案において、地域産業の人材育成を担う職業系専門学科のさらなる魅力化を図るため、今後の方向性や新たな取り組みを示したところである。

具体的には、工業系高校において、学校と地元企業が連携して、ものづくりの担い手を育成するデュアルシステムを取り入れる他、2校で学科の再構成を図ることとした。また、水産系高校3校について、それぞれの地域の特性を踏まえた学びの特色化を図るとともに、遠隔地からの生徒受け入れ体制の検討も進める。

今後、パブリックコメントや関係団体からの意見聴取等を行い、当該プログラムを決定する予定であり、こうした取り組み等により職業系専門学科の魅力化を図ることで、その活性化につなげていく。

不登校児童生徒支援

千葉県フリースクール活動支援事業では、どのようなフリースクールの取り組みを対象とするのか。

【答】不登校児童生徒の増加に伴い、フリースクールが学びの場として、教育機会の提供を担う役割が増している現状を踏まえ、県教育委員会では、その活動を支援することとした。

具体的には、令和6年度に実施したモデル事業の結果などを踏まえ、学習・体験活動やICTを活用した学校等との連携、保護者相談など、教育的意義や効果が認められる取り組みを支援対象とすることとしている。

また、フリースクールの活動内容や実績、施設の安全性、運営体制などを確認することとしており、引き続き、フリースクールや学校関係者等との連携を深め、不登校児童生徒の多様な学びの機会の提供につながる支援の充実に努めていく。

各常任委員会の 主な質疑から

総務防災常任委員会

問 エネルギー価格の高騰に伴い実施するLPガス料金負担軽減支援事業の、一世帯当たり600円の積算根拠はどうか。

答 国が実施する都市ガス利用者への支援の期間と補助割合を参考に、積算している。

今後、LPガス利用者への支援が、早期に実施されるよう取り組んでいく。

総合企画企業常任委員会

問 県営水道の料金改定に当たって実施する一般会計から上水道事業会計への繰出基準が見直されたことだが、具体的にどのように見直されたのか。

また、この変更によって繰出金額がいくらになると想定しているのか。

答 一般会計から上水道事業会計への繰出基準には、浄・給水場に係る自家発電設備の整備や、管路の耐震化などの費用を対象とすることが定められている。このうち管路の耐震化に係る費用の算定については、これまでの、施工延長を基準とする考えから基幹管路などの重要な管路の耐震化事業に力を入れている事業体をより支援するような考え方に見直された。

このことにより、次期中期経営計画期間における繰出額は、324億円となる見込みである。

健康福祉常任委員会

問 民生委員の確保について

取組んでいくのか。
答 県では、民生委員活動について、県ホームページやSNSで周知するなど、広報啓発に取り組んでいる。

また、安心して就任いただくよう、新任の民生委員研修において、相談技法やメンタルヘルス等の講座を実施している。

さらに、県職員退職予定者への働きかけを行っており、今後とも、さまざまな方法により、民生委員の確保に取り組んでいく。

環境生活警察常任委員会

問 千葉県文化会館の大規模改修に当たり、どこに重点を置いたのか。

答 これまで評価されてきた洗練されたデザインや音の響きのよさは継承しつつ、天井の耐震化やバリアフリー化など安全性や利便性の向上、照明のLED化や太陽光パネルの設置による環境への配慮など、持続可能な建物に求められる機能を取り入れている。

商工労働常任委員会

問 中小企業成長促進補助金について、令和6年度2月補正で同補助金を計上しているが、今回増額する理由は何か。

また、中小企業等がより活用しやすくするため、どのような工夫を考えているのか。

答 物価高や人手不足等の対応の他、米国の関税措置により、今後サプライチェーンが大きく変化することも想定されること、また前回の補助金で想定を超える申請があったことなどから、中小企業等が、設備投資を通じ、省力化・業務効率化や生産性向上等を図れるよう、10億円を計上した。

また、十分な事業実施期間を確保するため、翌年度にまたがって予算執行ができるよう、繰越明許費を設定した。中小企業等が同補助金をより活用しやすい環境をつくり、意欲的な企業等の成長を促進していきたい。

農林水産常任委員会

問 水田農業を取り巻く環境が大きく変化する状況下にあるが、県はこの状況をどう捉えるのか。

答 全国上位の米の生産県として、米の供給を担う重要な産地であることから、安心して米作りを行えるよう、生産基盤の強化を図っていく必要がある。

県土整備常任委員会

問 新湾岸道路について、有識者委員会では、道路計画の必要性を確認し、概略ルート案などが示されたことだが、有識者委員会では、道路計画の必要性をどのように確認したのか。

答 有識者委員会においては、コミュニティ活動により、地域の皆さま等から約4000件の意見が寄せられた。

これらの意見を取りまとめ、交通渋滞の緩和などの達成すべき目標が設定された。この目標を達成するためには、新たな道路計画が必要と確認された。

文教常任委員会

問 県立高校同士が学校単位の枠を超えて連携することで、教育活動の充実を図ることができると考えるが、現在の取り組みや

認識はどうか。
答 少子化などの影響により、特に郡部の小規模校において、これまでできていた学校活動が実施できなくなる難しい状況にある。

県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム案では、多古高校と市原高校を地域連携協働校に指定し、その近隣校を協力校とすることで、ICTを活用した遠隔授業や部活動の合同実施などの連携を強化して、教育活動の充実と活性化を図っていくこととしている。

今後、それぞれの高校が抱える課題や地域の特性などを踏まえ、高校同士の連携や資源の共有化、効率化などについて検討していく。



議会において 同意・選出された委員・議員

監査委員	實川 隆(自民党)
競馬組合 議会議員	伊藤 寛(自民党)
かずさ水道広域 連合企業団議員	渡辺 務(自民党)

(令和7年6月25日現在)

議会運営委員会委員

現員/定数	16 / 16
委員長	関 政幸(自民党)
副委員長	伊豆倉雄太(自民党)
委員	自民党 小路 正和 森 岳 宮坂 奈緒 宮川 太 松崎 太洋 小川としゆき 鈴木ともなり 鷲見 隆仁 野田 宏規
	立憲民 入江 晶子 菊岡たづ子 山下 洋輔
	公明党 阿部 俊昭 篠田 哲弥
	千政団 谷田川充丈
委員外議員	共産党 みわ 由美
	一人会派 西尾 憲一(平和党) 天野 行雄(国民) プリティ長嶋(県民声) 秋葉 就一(リベ民) 川口 絵未(市民ネ) 中西 香澄(市民力) 折本 龍則(有志) 榎本 怜(野田民)
	無所属議員 栗原 直也 松澤 武人 保坂 康平 加藤 裕太

(令和7年6月25日現在)

常任委員会委員

常任委員会名	総務防災	総合企画企業	健康福祉	環境生活警察	商工労働	農林水産	県土整備	文 教
現員/定数	12 / 12	12 / 12	11 / 12	11 / 12	10 / 11	11 / 12	12 / 12	12 / 12
委員長	宮川 太(自民党)	小野崎正喜(自民党)	松崎 太洋(自民党)	岩井 泰憲(自民党)	田中幸太郎(自民党)	高橋 秀典(自民党)	宮坂 奈緒(自民党)	伊藤 寛(自民党)
副委員長	鈴木ともなり(自民党)	川村 博章(自民党)	茂呂 剛(自民党)	雨宮 真吾(自民党)	小川としゆき(自民党)	木名瀬訓光(自民党)	西ヶ谷正士(自民党)	川名 康介(自民党)
委員	自民党 浜田 穂積 今井 勝 三沢 智 小高 夕佳	本間 進 實川 隆 坂下しげき 伊豆倉雄太	川名 寛章 石橋 清孝 佐野 彰 鷲見 隆仁	河上 茂 阿井 伸也 信田 光保 江野澤吉克 森 岳	小高 伸太 阿部 紘一 武田 正光 田畑 毅	酒井 茂英 木下 敬二 伊藤 昌弘 高橋 祐子	宇野 裕 瀧田 敏幸 山本 義一 小路 正和 渡辺 務	穴倉 登 関 政幸 中村 実 野田 宏規
	立憲民 網中 肇 山下 洋輔	守屋 貴子	入江 晶子 菊岡たづ子	河野 俊紀	鈴木 均 伊藤ちかこ	竹内 圭司	高橋 浩 関根シロー	野田 剛彦 秋山 陽
	公明党 赤間 正明	仲村 秀明	篠田 哲弥	横山 秀明	田村 耕作	秋林 貴史	鈴木 和宏	阿部 俊昭
	千政団 水野 友貴					谷田川充丈	須永 和良	石川りょう
共産党 加藤 英雄		みわ 由美				丸山 慎一	浅野ふみ子	
一人会派 プリティ長嶋(県民声)	天野 行雄(国民) 秋葉 就一(リベ民)	中西 香澄(市民力)	川口 絵未(市民ネ)			西尾 憲一(平和党) 折本 龍則(有志)		榎本 怜(野田民)
無所属議員		栗原 直也 加藤 裕太		保坂 康平	松澤 武人			

(令和7年6月25日現在)

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。
その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。



6月5日(木)



自民党
武田 正光 議員
(流山市)

- (仮称)流山地区特別支援学校
- つくばエクスプレス東京駅延伸
- 在宅医療支援
- 旧流山有料道路4車線化



立憲民
高橋 浩 議員
(木更津市)

- 稲作経営の維持
- 学校給食費の無償化
- 東京湾アクアライン
- つくばアクアラインマラソン



自民党
伊豆倉 雄太 議員
(市原市)

- 継続可能な農業
- 魅力ある観光地
- 郡部の教育
- 高滝ダムの堆砂問題



自民党
野田 宏規 議員
(流山市)

- 児童福祉施設等整備費
- 学校教育
- ユニバーサルツーリズム
- 児童養護

6月6日(金)



公明党
横山 秀明 議員
(八千代市)

- 地域防災緊急整備事業
- 歩行者の安全対策
- 教育政策の拡充
- 東葉高速鉄道



自民党
宮崎 真吾 議員
(成田市)

- 成田空港
- 救急医療
- 入札制度
- 教育問題



自民党
川村 博章 議員
(千葉市花見川区)

- 千葉ロッテマリーンズの球場
- 大阪・関西万博
- 総武線の利便性向上
- 駐車許可および駐車規制からの除外措置



自民党
松崎 太洋 議員
(柏市)

- つくばエクスプレス
- 都市軸道路
- 公園の魅力向上
- クリーンメイトセンター

6月9日(月)



自民党
川名 康介 議員
(鶴川市・南房総市・安房郡)

- 南房総地域半島振興計画
- 中小企業支援と農林水産業振興
- 保健師の活動
- 地域の道路・河川整備



市民力
中西 香澄 議員
(松戸市)

- 児童虐待の未然防止
- 県立学校のPTA入会確認方法
- 入学時提出書類の簡素化
- 通学路の見守り強化



共産党
みわ 由美 議員
(松戸市)

- (政治姿勢)消費税、武器見本市
- オスプレイ、「旧統一教会」
- 県営水道値上げ、物価高騰対策
- 児童相談所の体制強化と児童養護



自民党
中村 実 議員
(船橋市)

- 多頭飼育に係る福祉との連携
- 東葉高速鉄道
- 森奈津子氏の講演中止
- 公費によるしんぶん赤旗の購読

6月10日(火)



自民党
高橋 祐子 議員
(富里市)

- 外国人住民との共生
- 循環器病対策
- 農業用廃プラスチック
- 白タク行方



自民党
宮川 太 議員
(銚子市・香取郡東庄町)

- 農業の振興
- 人口減少問題
- 次世代型太陽電池
- 施設の維持管理



自民党
鈴木 ともなり 議員
(市原市)

- 市町村の課題
- 地域医療
- 金属スクラップヤード等対策
- くらしの安全・安心の確保



有志
折本 龍則 議員
(浦安市)

- 中高貫校に向けた県立高校改革
- 特別養護老人ホームの整備支援
- クルーズ船事業とOLTCとの連携
- 県営住宅における少子化対策

6月11日(水)



自民党
坂下 しげき 議員
(市川市)

- 県民を命の危険や病気から守る政策
- 県民の生活を守り支える政策
- 障がい者等すべての県民に寄り添う政策
- 県民が安心して生活できる道路・歩道の整備



自民党
小路 正和 議員
(勝浦市・いすみ市・夷隅郡)

- いすみ鉄道
- 御宿駅のバリアフリー化
- 養老深谷
- フェーズフリー政策

インターネット中継 動画配信中



千葉県議会中継

6月定例県議会 知事あいさつ

このたび提案致しました案件は、令和7年度6月補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の22議案の他、諮問1件、報告2件です。

◎令和7年度6月補正予算案

令和7年度6月補正予算は、当初予算が「骨格予算」であったことから、「肉付け予算」として、政策的な判断を要する経費や新規事業、投資的経費のうち新規着手分などを中心に編成しました。

具体的には、産業の振興や道路ネットワークの整備など、今後の千葉県の発展に不可欠な事業の他、教育環境の充実や子ども・若者の支援をはじめ、医療・福祉の充実、環境対策の推進、文化・スポーツ振興など、「千葉の新たな飛躍」に向けた事業を計上しています。

この結果、一般会計の補正予算額は816億6,700万円で、補正後の予算規模は2兆1,858億1,700万円となります。

◎主な議案の概要

議案第1号から議案第6号までの6議案は、一般会計および特別会計の補正予算案です。

議案第7号から議案第9号までの3議案は、条例の一部改正に係るものです。

議案第10号から議案第21号までの12議案は、児童相談所の建て替えや北千葉道路の整備などに係る契約を締結するため、議案第22号は東京電力福島第一原子力発電所事故に係る損害賠償について和解するため、それぞれ議会の議決を得ようとするものです。



◎大阪・関西万博への出席

本県には、醤油やみりんなどの発酵食品、さらにはバイオテクノロジー分野での活用など、発酵の歴史や文化、技術が各地に存在し、大きな魅力の一つとなっています。

その魅力を国内外に発信するため、大阪・関西万博に発酵をテーマとして、8月27日から8月30日までブース出展することとしております。

ちばの発酵に関する歴史・文化等の展示・紹介に加え、飲食・体験メニュー等の提供により、発酵の魅力を実際に見て、味わって、体感できるブースとする予定であり、国内外を問わず、多くの方々に楽しんでいただきたいと思います。

この万博出展を契機として、市町村や企業等の関係者の皆さまとともに「発酵県ちば」の取り組みを推進してまいります。

◎その他、6月補正予算の主な施策の概要および当面する諸問題等に関する報告がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。

千葉県議会 知事あいさつ

予算委員会



予算委員会が6月13日(金)と16日(月)の2日間開催され、令和7年6月補正予算案とこれに関する議案について、横断的かつ多角的に審査が行われ、活発な議論が展開されました。

委員長	坂下しげき(自民党)		
副委員長	三沢 智(自民党)	茂呂 剛(自民党)	
委員	岩井 泰憲(自民党)	伊豆倉雄太(自民党)	川名 康介(自民党)
	高橋 祐子(自民党)	伊藤 寛(自民党)	田中幸太郎(自民党)
	宮川 太(自民党)	渡辺 務(自民党)	川村 博章(自民党)
	鈴木ともなり(自民党)	鷲見 隆仁(自民党)	竹内 圭司(立憲民)
	網中 肇(立憲民)	菊岡たづ子(立憲民)	秋山 陽(立憲民)
	赤間 正明(公明党)	秋林 貴史(公明党)	石川りょう(千政団)
	浅野ふみ子(共産党)	西尾 憲一(平和党)	天野 行雄(国民)
	プリティ長嶋(県民声)	秋葉 就一(リベ民)	川口 絵未(市民ネ)
	中西 香澄(市民力)	折本 龍則(有志)	榎本 怜(野田民)
	松澤 武人(無所属)	保坂 康平(無所属)	加藤 裕太(無所属)

(令和7年6月3日現在)

令和7年9月定例県議会 会期および議事・委員会予定(素案)

月 日	議事・委員会予定	開議時間
9月 5日(金)	開会	午前10時
11日(木)	質疑並びに一般質問	//
12日(金)	//	//
16日(火)	//	//
17日(水)	//	//
18日(木)	//	//
19日(金)	//	//
22日(月)	//	//
25日(木)	常任委員会(健康福祉・文教)	//
26日(金)	// (総合企画企業・商工労働)	//
29日(月)	// (環境生活警察・県土整備)	//
30日(火)	// (総務防災・農林水産)	//
10月 3日(金)	閉会	午後1時

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。 ※傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV ... テレビでの生放送を予定しております。 PC ... パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧いただけます。